

専門ゼミ B		演習	教授 田中 秀臣	
科目カテゴリ	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナコースの必修科目	科目ナンバリング	11130302	

1. テーマ

日本及び世界の経済問題を、さまざまな文化的現象（アイドル、音楽、ゲーム、映像コンテンツ、食など）やスポーツなどを通して理解をふかめていくこと。またそれらを将来の自分たちの進路（就職や進学）に生かすこと。

2. ゼミのねらい・概要

専門ゼミの目的は、四年次の卒業研究において卒業成果を提出するための基礎訓練にある。専門ゼミ A に引き続いて、そのため授業では、各自が経済学の基礎の学ぶこと、そしてその前提に立って現実の経済問題や、さまざまな文化現象やスポーツの話題を気楽に楽しく話題にしていく。専門ゼミ B では、特に経済の現代的なテーマである「娯楽」「食」「スポーツ」などを、各国の経済事情とからめて、基本的に講義形式を採用し、そこに学生たちとの討論を交えていく。

3. ゼミ計画

1. ゼミのすすめかたの再確認	9. スポーツの経済学入門の復習
2. アイドルの経済学応用編	10. ワールドカップの経済学
3. 食とグルメの経済学	11. 最近の日本経済
4. 日本と世界の音楽市場	12. 最近の世界経済
5. K-POP の世界成功戦略を考える	13. 美術市場の経済学
6. マーベル映画（アベンジャーズなど）の経済学	14. アニメ市場の経済学
7. 日本のマンガと世界のコミック市場	15. ゲームやEスポーツの経済学
8. 将来の若者の就職事情	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

それぞれが自分の生活に合った準備をすればよく具体的な時間は特に指定しない。あえて目安をいえば、30分以内で構わない。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

第5回までに学生と個別に面談するなどの機会をもうけて直接に指導する。毎回、文化やスポーツ、時事問題への理解の度合いを確認し、学生に直接に指導する。講義時間中に学生からの感想を手短に確認し、それを次回の講義などに活用していく。

6. ゼミにおける学修の到達目標

卒業論文のための準備期間という意識をもち経済学の基礎的な項目の、一通りの理解と習得ができていること。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミに対する取り組み（80%）を主軸に、たまに講義の感想などをきくのでそれも参照する（20%）

8. テキスト・参考文献

以下のテキストを利用する予定だが特に買わなくてもいい。

田中秀臣『AKB48の経済学』朝日新聞出版社

田中秀臣『日本経済復活が引き起こすAKB48の終焉』（主婦の友社）

田中秀臣『ご当地アイドルの経済学』（イーストプレス）

田中秀臣『偏差値40から良い会社に入る方法』東洋経済新報社

9. 受講上の留意事項

毎回の授業でわからない点はぜひ積極的に指導教官に伝えてほしい。またゼミの内容には直接に関係はしないが、個別の面談などやゼミの時間中に、各自の進路やまた全体的な就職・進路状況などについてのガイダンスやまた情報の提供を行う予定である。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。